



大府みどり公園のミモザ

継承とアップデート

共和病院 リハビリ支援部
次長 朝倉 起己

ギリシャ神話に「テセウスの船」というエピソードがあります。英雄テセウスの帰還を記念して保存された船の部品が、朽ちるたびに新しいものへと交換され、最終的にすべての部品が入れ替わってしまったとき、それは果たして「元の船」と同じと言えるのか、という問いです。

私は、共和病院に勤務して今春で28年目を迎えます。入職当時の病院は思春期・青年期病棟が活気に溢れていました。私は作業療法士として、患者様と共にスポーツに汗を流し、自信を深め合うリハビリテーションに勤しんでまいりました。当時の病棟の窓から見えた創立記念のイチョウの樹や、患者様たちが「上高地」「軽井沢」と呼んで親しまれた憩いの場も、今では新病棟の建築や建て替えに伴い、その姿を消しています。

28年前から残っている建物は一つもなく、物質的な観点に立てば、今の病院は「当時の共和病院」ではないのかもしれませんが。職員の顔ぶれも入れ替わり、働き方改革の影響も相まって、病院の雰囲気も変化しました。

しかし、長年勤め続けている私の実感として、共和病院は変わらずそこに存在しています。ここで重要なのは、何をもって「同じ（同一性）」と見なすかという哲学的な議論です。

共和病院の存在の本質は、建物という形にあるではありません。患者様に寄り添う姿勢、真心を込める気持ち、そして安心と希望を叶える「優しい医療・楽しい職場」という理念にこそあると考えています。この精神が職員の心に根付いている限り、たとえ物質的な姿が変わろうとも、共和病院は一貫して在り続けられるのだと言えるでしょう。

社会や時代の変化に柔軟に対応し、地域から選ばれる病院であり続けるためには、変化を恐れず常にアップデートしていく姿勢が不可欠です。姿かたちは変わっても、受け継ぐべき「優しい医療・楽しい職場」の姿勢と気持ちを胸に、大切な想いと志を未来へとつなぎ、実現していく決意を新たにしています。この共和病院というテセウスの船に乗って。



日本医療機能評価機構
認定シンボルマーク

TOPICS・EVENT

第17回 共和会研究発表・実践報告会を開催して

3月7日(土)、第17回共和会 研究発表・実践報告会を開催しました。法人内外から102名の方にご参加いただきました。

今年度は、日々の実践をより共有していきたいという声を受け、研究発表会から「研究発表・実践報告会」へ名称を改めました。会場後方にお菓子コーナーや飲み物を用意し、発表後には、初めての試みで名刺交換会を行いました。「おもてなしの気持ちが伝わってきて良い雰囲気だった。」といった声が参加者から寄せられ、会場が和やかな空気に包まれました。

当日は7題の発表があり、「本人や家族の願いに寄り添う姿勢に心を打たれた」「患者さまの思いを丁寧にくみ取ろうとする姿勢に感動した」など、多くの温かい感想をいただきました。災害時事業継続計画の発表には関連機関からも高い関心が寄せられ、学びの輪が広がりました。

演者の皆さんは、日々の業務の時間を調整しながら準備を進め、この日を迎えました。その背景には、医療・介護・事務・在宅など多くの職員が支え合い、励まし合う姿がありました。「優しい医療・楽しい職場」という理念が、こうした日々の積み重ねによって形づくられていることを改めて感じる機会となりました。

ご参加くださった皆さま、そして準備から運営まで携わってくださった全ての職員のおかげで、心に残る会となりました。本当にありがとうございました。



実行委員長 村瀬 舞

プログラム

1

一針一針に込める「社会とのつながり」
～趣味の縫物から保育園への贈り物～
伊藤 篤史 (作業療法士)
齋藤 佳也子 (介護福祉士)



2

感覚処理の課題に配慮した移動支援
用具の実践的検討
久留宮 なぎ砂 (作業療法士)



3

精神科デイ・ケアにおける
WRAP : Wellness Recovery Action plan
(元気回復行動プラン) の実施方法の
検討と効果測定
小島 誠生 (精神保健福祉士)



4

神経難病患者と家族のACPに着目した
退院支援
～意思決定における
コミュニケーションの役割～
小島 佐紀奈 (看護師)



5

朝の口頭申し送り廃止による
業務改善の取り組み
荒川 実穂 (看護師)



6

妄想性障害のある患者とその
家族へのインスリン導入指導
濱口 由美子 (看護師)



7

医療機関の災害時事業継続計画
～大規模停電の経験をふまえて～
伊奈 克昌 (防火防災委員長)



共和病院では、外来～入院～退院を通して、様々な部署・職種によるサポートを行なっております。
毎号それぞれの部署・職種を紹介しています。

医療福祉課

私たち医療福祉課は、患者様が安心して治療を受け、その後の生活を整えていけるよう支援を行う部署です。

当課にはソーシャルワーカーと事務員が在籍しています。精神保健福祉士や社会福祉士などの資格をもつソーシャルワーカーが、患者様やご家族の生活上のご相談に応じ、制度の利用、退院後の住まい、福祉サービスの調整などの助言や支援を行なっています。日々多くの電話対応や書類業務があるため、事務員との連携も欠かせません。

また、各病棟に担当ソーシャルワーカーを配置し、病棟ごとの関わりを大切にしています。一方で、毎日のミーティングや情報共有を通じてワーカー同士の連携も図っています。ベテランから若手までそれぞれの得意分野を活かし、チームとして患者様とご家族を支えています。

地域の支援者の皆さまとも協力しながら、医療と地域生活をつなぐ橋渡し役として、安心して社会とつながり続けられるよう共に考えてまいります。お気軽にお声がけください。

責任者 門みゆき



自分らしい「ひとり暮らし」への第一歩を。

移行支援住居が開所します！

当法人では今春から新たなグループホーム、移行支援住居『らるく』（定員7名）を開設する運びとなりました。本ホームは単なる住まいではなく、「いつかは一人暮らしをしたい」「自分のペースで生活をしていきたい」という願いを叶えるための3年間の利用を目安とした移行支援型の住居です。

フランス語で虹を「ラルク・アン・シエル（空の架け橋）」と呼びますが、私達の『らるく』には、地域との懸け橋となり、7名それぞれの個性が7色の虹のように輝きながら暮らしていける場所でありたい、という想いが込められています。

生活面では、スタッフが日々の家事や体調管理をサポートしながら、一人暮らしに必要な力を一緒に身につけていきます。また、将来の自立に向けて、地域の社会資源活用や日中活動定着などについて、関係機関と連携した支援を行います。

新しい環境へ踏み出すことには不安も伴いますが、私たちは「自分らしく生きたい」という思いに寄り添い、全力で応援していきます。

現在、入居案内や見学を受け付けております。定員に限りがございますので、ご興味のある方はお早めにお問い合わせください。新しい生活のスタートを共に迎えられることを楽しみにしております。

問い合わせ先：グループホームあしび TEL 0562-44-8204

地域ケア課 堀場、小島

編集後記



4月を迎え、少しずつ春らしさを感じる季節となりました。環境の変化が多い季節ですが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

今年度も本広報誌では、当院の最新の取り組みや活動をできるだけわかりやすく、身近に感じていただけるよう

お届けしていきたいと考えています。

忙しい日常の合間に、少しでも目を留めていただけますと幸いです。

今年度もどうぞよろしくお願いたします。

広報委員会 佐竹 萌

★表彰おめでとうございます!★

2025年度の冬季、当法人の職員が精神医療の分野で長年の功績を認められ表彰を受けました。
これからも長く勤めていただき、一層の活躍を期待いたします。

当院で30年以上患者様の支援に精励尽力されたことが認められ、愛知県精神科病院協会より永年勤続表彰を受けました。(2025年12月18日)表彰は、後日 理事長の西岡より行ないました。

表彰者 松下直美さん(看護師)
費江三子さん(事務)



左より費、西岡、松下

2026年1月16日に開催された「社会福祉法人大府福祉会 設立40周年記念式典」において、大府福祉会のご利用者健康管理および職員教育への多大な貢献が評価され、当院名誉院長榎本和が表彰されました。



共和会理念

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは

- まごころをこめてやすらぎと癒しの提供
- あなたの安心と希望ある地域生活の支援
- それぞれの専門性を活かした最良の医療・介護サービスの提供

私たちが目指す『楽しい職場』とは

- 職員のチームワークと創造性が高められる職場
- 職員のレベラアップと仕事の充実が感じられる職場
- 職員の満足が皆様へ反映される職場

～当院の基本方針～

- 患者さまや利用者さまの大切な権利をしっかりと守ります。
- 安全で安心できる、質の高い医療、介護サービスを提供することに努めます。
- 地域と医療・介護との切れ目のないサービスを提供します。
- 思いやりをもち、お互いの立場を尊重します。

～患者・利用者さまの権利～

- 個々の状態に応じた医療、介護を平等に受けることができます。
- 医療行為の説明に納得し、自己決定することができます。ただし、必要に応じ主治医の判断によってご家族、代理の方に説明をする場合もあります。
- 治療における個人情報保護されます。
- 暴力や虐待を受けることなくあなたの人格は尊重されます。
- 外部医療機関の医師の意見を聞くことができます。(セカンドオピニオン)
- 退院、退所後の地域生活を支援するサービスを受けることができます。
- 退院請求・処遇に関する不服申し立てを行うことができます。



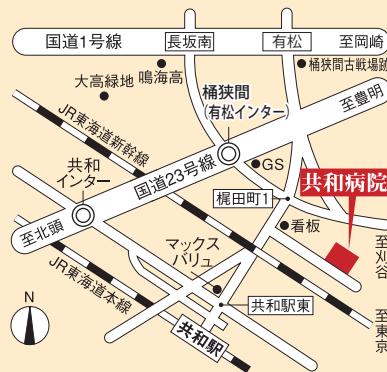
事業所移転のお知らせ(4月1日より)

- 訪問看護ステーションアイリス大府
住所：大府市共栄町九丁目7番地15 共和フラワーマンション106号
- 訪問看護ステーションソレイユ
- 相談支援事業所みらい
住所：大府市梶田町二丁目198番地



新規事業開設のお知らせ(5月1日より)

- 認知症対応型グループホーム ほおの木
住所：大府市梶田町二丁目198番地



特定医療法人 共和会

共和病院

愛知県大府市梶田町2-123

診療科目

内科・消化器内科・呼吸器内科・脳神経内科
精神科・心療内科・循環器内科・放射線科
リハビリテーション科・歯科

TEL.0562-46-2222(代)
URL <http://www.kyowa.or.jp/>

★ラジオ番組★

毎月 第2月曜日19:00～19:30

MID-FM 76.1

ラジオパーソナリティー
共和病院 副院長 松下直美

こころの病を持たれている方をはじめとする皆さまに
温かいメッセージをお送りします。是非お聞かせください。

おもいやり共和の キラキラチアナイト



当院HPから過去の放送分も聴くことができます。

お知らせ

8月13日(木)～8月16日(日)は、
お盆につき外来診療を休診させていただきます。